

## 平成 28 年度 佐野小学校区 第2回地域コミュニティ連絡会のまとめ

作成：三島市地域安全課きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

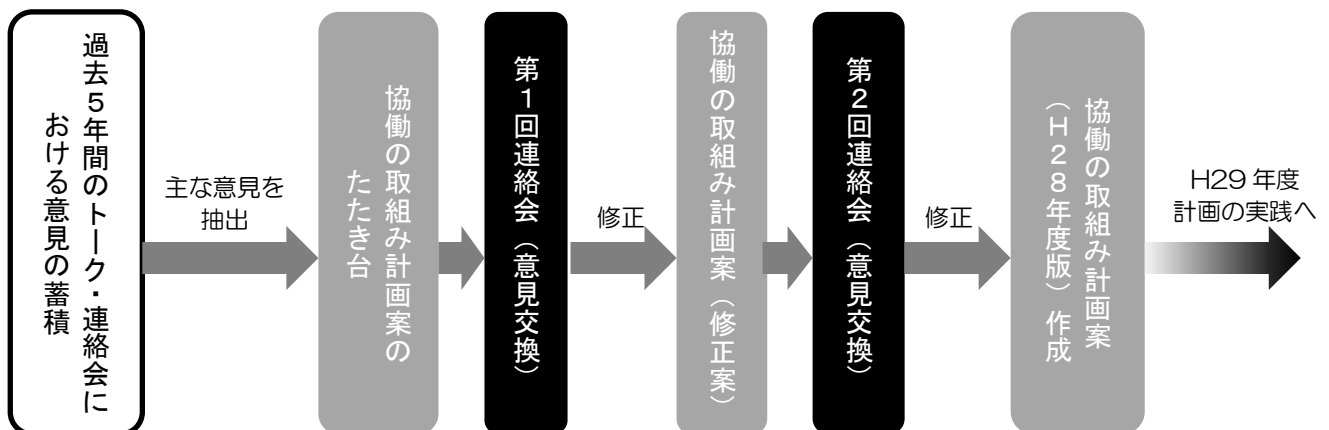
12月1日（木）に開催された「佐野小学校区第2回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。まとめができましたので、送付いたします。

※市のホームページにも掲載しています。

### ■開催概要■

日時	平成 28 年 12 月 1 日（木） 19:00～20:45		
会場	北上文化プラザ		
参加団体 (15名)	佐野自治会 佐野区防災委員 見晴台自治会 伊豆佐野保育園	佐野小学校 北上中学校 佐野小学校支援地域本部 佐野子ども会	環境美化推進委員会 消防団第5分団 保健委員会 保護司会

### ■今年度の連絡会の流れ（予定）■



## 地域の情報交換のまとめ

- 連絡会の中で、各団体が地域の皆さんに知ってほしいことや協力を仰ぎたいことなどを共有しました。

団体	情報交換の概要
伊豆佐野保育園	<p><b>■園庭開放のお知らせと農業体験の紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て広場という園庭開放事業を実施していますが、佐野地区の未入园児があまり来ません。ぜひ、周りの未入园児に声をかけてください。</li> <li>・三島甘藷まつり実行委員会様のご協力のもと、芋のつるさしや芋掘りから甘藷まつりまで参加させていただいています。子どもたちにとって、農業体験はとても良い機会になっています。</li> </ul>
佐野子ども会	<p><b>■廃品回収へのご協力のお願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年6回廃品回収を行っていますが、廃品回収の回収量が年々減少しています。以前は、子どもたちが地域の各世帯に回収に伺っていましたが、少子化の影響などもあり、今は地域の皆さんに持ってきていただく形です。</li> <li>・店舗での回収もありますが、今後も子ども会の廃品回収にご協力ください。</li> </ul> <p><b>■ラジオ体操のお知らせ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休みの10日間、佐野小学校の校庭で6:30~6:40の間ラジオ体操を行います。来年からは地域の方たちも参加できるように回覧を回すので、ぜひご参加ください。</li> </ul>
消防団第5分団	<p><b>■普段の活動の紹介</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段は、2年に1度開催される消防操法査閲大会に向けて練習に取り組んでいます。</li> <li>・1/8には、消防出初式があり、本町でパレードに参加します。</li> </ul>
見晴台自治会	<p><b>■イベントの紹介及び地域の現状のお知らせとお願い</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見晴台では、3つの大きなイベントがあり、半年ほど前から準備をします。</li> <li>・どんど焼きは、やまばと公園で餅つきをしたり、ふるまい酒を配ったりしてきずなを深めます。見晴台以外の方もぜひご参加ください。</li> <li>・夏祭りは、企業から寄付をいただき、しゃぎり演奏などを楽しみます。</li> <li>・敬老大会は、高齢者が楽しみにしているイベントです。</li> <li>・12/4に防災訓練を開催します。近年、学校の呼びかけのおかげもあって、小中学生の参加者が増えてきました。消防団の協力で消防車に触れることができるので、今年も学校から呼びかけていただけると嬉しいです。</li> <li>・緑道の樹木をきれいに管理していますが、お菓子のゴミなどが落ちていて、子どもたちのマナーが悪いです。</li> <li>・見晴台の体験農園では、収穫時に多くの子どもが集まりますが、普段の作業時には半分程度の人数になってしまいます。作業にもご参加ください。</li> </ul>
三島甘藷祭り 実行委員会	<p><b>■甘藷まつりの報告と今後について</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・11/12に第11回三島甘藷まつりを盛大に開催し、5,000人の方にご来場いただきました。</li> <li>・甘藷まつりは、「三島の甘藷を多くの人に味わっていただきたい」という願いから始めましたが、規模が大きくなり、実行委員の高齢化や担い手不足なども加わって、このまま開催することは難しい状況になりました。</li> <li>・保育園や小学校の子どもたちに、甘藷に触れたり、食について考えたりする機会を与えることができ、一定の成果は達成できたと思っています。</li> <li>・今後は、フードフェスティバルで甘藷のPRをしていきたいです。</li> </ul>

## 意見交換のまとめ

### ■キャッチフレーズの投票結果

第1回連絡会でいただいた意見を踏まえて事務局が作成した「こんな小学校にしたい」(キャッチフレーズ)の案について、投票を実施しました。

案①	自然に触れ 素直で思いやりのある 佐野小学校区	6
案②	子どもが帰りたいまち 佐野小学校区	4
案③	みんなが顔見知り あいさつのまち 佐野	5

投票の結果、「こんな小学校にしたい」(キャッチフレーズ)は以下の通りとなりました。

## 自然に触れ 素直で思いやりのある 佐野小学校区



## ■「具体的な取組み」の投票結果

協働の取組み案に掲載している「取組みたいこと」について、右記の3つのポイントで投票していただきました。投票の結果は以下の通りです。

＜投票のポイント＞

- ①「やってみたい」と思う取組
- ②課題を解決するために重要な取組
- ③実現できそうな取組

※●の数が投票数を表します。

A みんなが参加できる防災訓練を企画・実施しよう		やりたい	重要	できそう
A-①	佐野と見晴台合同で飲料水の浄化と炊き出しの訓練を実施する。			
A-②	避難場所である佐野小で避難所運営訓練をする。	●	●●●●●●●●	
A-③	訓練内容を工夫し、中高生も活躍できる訓練を実施する。	●	●●	
A-④	楽しい要素を取り入れるなど、訓練と合わせて魅力ある企画を実施して参加者を増やす。	●		
A-⑤	佐野小PTAが主催する防災キャンプを継続するとともに、必要に応じて地域の方も協力する。			●
A-⑥	子どもも大人も防災訓練に参加するという地域の雰囲気をつくる。			●●●

B 佐野と見晴台の交流を深める取組みを实践しよう		やりたい	重要	できそう
B-①	放課後に学校で遊べるように遅い時間にスクールバスを出す。	●●	●	
B-②	子ども会同士が交流する取組みを自治会と一緒に企画する。			●●●
B-③	佐野の神社のお祭りに見晴台の子どもを招待したり、見晴台の夏祭りに佐野の子どもを招待したりする。また、自治会も協力する。		●	●●●●●●●●
B-④	保育園と地域で取り組めることを考えてみる。 (高齢者の力を借りて農業体験、地区で作った芋でスイーツポテトづくり)	●		
B-⑤	地域のイベント情報を回覧版だけではなく、子ども会の回覧でも回す。			
B-⑥	高齢者の引きこもり防止や世代間交流のため、閉じこもりがちな高齢者への対策を検討する。		●●●	

C 消防団員を確保するための取組みを進めよう		やりたい	重要	できそう
C-①	地域独自の団員募集を継続する。 (長男の加入、自治会との協力 など)		●	
C-②	消防団員の表彰や感謝状を増やす。			
C-③	消防団募集チラシの全戸配布など、募集の方法を工夫して声のかからない人をなくす。		●●●●●	●●
C-④	回覧版で活動を広報する。			

C-⑤	祭りや防災キャンプで消防団をアピールする。			●
C-⑥	役割を明確にした上で、高齢者による消防活動について検討する。	●	●	

## ■投票結果を受けての意見交換

### A-② 避難場所である佐野小で避難所運営訓練をする。

- ・見晴台と違って佐野地区は防災訓練ができていないので、佐野小の避難所運営訓練はやるべき。
- ・今年度初めて役員だけで避難所運営訓練をやってみて、夏の避難所がすごく暑いとわかった。やってみて初めてわかることもある。
- ・実際に体験してもらうべき。
- ・見晴台から佐野小まで避難することは現実的でない。

### B-③ 佐野の神社のお祭りに見晴台の子どもを招待したり、見晴台の夏祭りに佐野の子どもを招待したりする。また、自治会も協力する。

#### ●子ども会同士の交流は進んでいる。

- ・既にやり始めている。
- ・佐野の子どもたちが、見晴台の夏祭りに招待され、楽しんで参加していた。
- ・見晴台の子どもたちも佐野の祭りに招待され、実際に来てくれ、シャギリも楽しんでた。
- ・子ども会同士の交流が出来てきた。

#### ●災害時の協力を発展するとよい。

- ・何かあった時、佐野の知り合いに預かってもらうことになっている。
- ・災害時に佐野と見晴台の子ども会同士が協力できるかもしれない。

### C-③ 消防団募集チラシの全戸配布など、募集の方法を工夫して声のかからない人をなくす。

- ・子ども会を対象に、消防団を称える作文や絵画のコンクールをやったらどうか。
- ・特に見晴台は消防団が少ないので、チラシを全戸配布すべき。
- ・団員募集のチラシは行事の時に配布したらどうか。
- ・消防団員不足を補うため、消防団 OB で元気な人にできることをやってもらうのも一つの手ではないか。

